

我ら 50 期 ここにあり

言い訳を徹底的に排除しよう



テキサス大学の心理学者、T・リスカ博士は、体育学部の学生 189 名にランニングをさせました。すると、始める前に「今日は体調が悪い」とか「いま集中できない」といったネガティブな言い訳をしている学生ほど、成績が悪かったと報告しています。また、主体性のない人間は、勝ち組に仲間入りできないということも判明しています。フロリダ州立大学のP・ペレーウィ博士は、110 名の学生にラジオの組み立て作業をさせました。すべての学生がこの作業を初めて行ったのですが、最後まで黙々と作業をやり続ける学生と、途中で投げ出す学生に分かれました。最後までやりとげる学生の共通点は、「自分の人生は自分で切り拓く」とう主体性を持っていることが判明したのです。博士は、「主体性のある人間は、途中で投げ出すことが大嫌いで最後まで頑張れる」と主張しています。



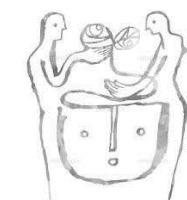
農耕型と狩猟型

「農耕型」と「狩猟型」という言葉があります。「農耕型」は、来る日も来る日も植物に声を掛け、水をやり、雑草が生えれば抜いてやり、コツコツと育てるやり方です。それに対して「狩猟型」は、成果を重視する成果主義で、成果だけを見て報酬を分配し、それで育成しようという考え方です。その弊害として、数字をつくり、外見だけをつくろい、見えないところは手を抜けばいいという発想が生まれました。その発想が多くの偽装や詐欺事件を生み出しているのだと思います。法律や罰則を強化し、犯罪を防ぐことも大切ですが、毎日毎日コツコツと、裏表なく本気で取り組むと姿勢が大切になってきます。いつ現れるかもわからない獲物を待って、それをみんなで取り合いするより、今はまだ小さいけれど夢や理想を持ってコツコツと努力し、結果や成果をみんなで分かち合える方がよっぽどやりがいがあると思いませんか。

大人は 1 日にどれくらい働いているか？



お金を稼ぐためには働かないといけません、大人は 1 日のうちにどれくらいの時間を仕事に割いているのでしょうか。会社に勤めている人の 1 日の労働時間は、おおよそ 8 時間です。それに通勤準備と往復の通勤時間で 2 時間ほどかかります。睡眠に 8 時間、3 食ご飯を食べる時間に 2 時間、火事やお風呂などの時間に 1 時間と考えると、1 日は 24 時間なので、平日で自由に使える時間は 3 時間しかありません。残業した日などは自由に使える時間が全くないこともあります。起きている時間のほとんどは、仕事で占められていると言っても言い過ぎではないでしょう。時間だけではありません。もし、会社員になったとすると会社に行き仕事をするから、自分の家ではないところに、かなり長い時間いることになります。つまり、時間だけでなく、自分がいる場所（空間）も仕事によって影響を受けることになります。さらに仕事は、人の気持ちにも大きな影響を及ぼします。「あの仕事はどんなかな」「うまく仕事が進まなかったらどうしよう」などと、プライベートな時間でも仕事のことが頭から離れない場合があります。逆に仕事が上手くいっていると、気分が楽しくなり、プライベートでも自分の時間を幸せに過ごせることもあります。仕事はその人の「時間」と「場所」、そして、「気持ち」を大きく占めることになります。だとすると、仕事はお金を稼ぐ手段としてだけではなく、自分の人生に大きく関わるとても大事なものだと思えてきませんか？



学校と仕事と生活は切っても切り離せない。

仕事を学校に置き換えてみると…。学校で過ごす時間は、その人が起きている時間の半分以上を占めています。多くの人が、自分の家族より、学校で過ごす時間の方が長くなります。勉強をするためには、多くの場合は学校に行かなければなりません。自分のいる場所も学校によって大きく左右されます。学校生活が充実していると、プライベートにも張りが出てくる場合があります。反対に学校生活で悩みがあるときなどは、心身が休まらないこともあります。子どもなら学校が、大人なら仕事、家族や家庭での生活に直結していて切っても切り離せない関係になっていることがわかります。